

令和7年度 阿久根市まちづくりビジョン等施策検証委員会 意見等要録

1 日時

令和7年4月30日（水）午後2時00分～午後3時30分

2 会場

市役所 大会議室

3 出席委員

（敬称略）

	所属	役職	氏名
1	阿久根商工会議所	会頭	栢 壽一
2	北さつま漁業協同組合	組合長	佐冨 芳藏
3	株式会社まちの灯台阿久根	代表取締役	石川 秀和
4	阿久根市	副市長	松崎 裕介
5	阿久根市	副市長	上野 淳
6	鹿児島県北薩地域振興局	総務企画課部長兼 地域企業振興監	内村 幸二 （代理出席）
7	阿久根市教育委員		西園 敦子
8	鶴翔高校	校長	久保 美和子
9	阿久根市区長連絡協議会	会長	川原 修一
10	阿久根市社会福祉協議会	会長	西田 幸作
11	阿久根市PTA連絡協議会	理事	野田 文徳
12	阿久根市女性団体連絡会	会長	高村 和恵

4 意見等

(1) 全体概要・人口ビジョンについて

意見等無し

(2) 総合戦略（基本目標1～3）に関する施策等について

《基本目標3-(2)-① 切れ目のない支援の充実》

○ 阿久根市社会福祉協議会では、学童を複数運営している。国の処遇改善の施策により、待遇は良くなっているものの、指導員の確保が非常に難しい状態。子育て支援を市の重点施策として進めてほしい。

《基本目標3-(3)-⑤ 鶴翔高校との連携》

○ 台湾台南市善化区との青少年交流事業については、経済的な交流も含めて取り組

んでほしい。

- K P I が現時点では未設定。将来的に鶴翔高校の統廃合は起こりうることで、先んじて市でできることを実施し、それに紐づく K P I に設定するべきである。
- 寮が設置され、入寮者は体育会系の生徒が中心だと思うが、文科系の生徒も入寮できるようにしてほしい。
- 人材確保策として、特定地域づくり事業協同組合の取組を進めているが、鶴翔高校を対象とした合同企業説明会については、人材獲得のタッチポイントを増やすため、回数を増やしてほしい。
- 令和7年度の入学者数は77人、このうち総合学科は39人。40人を切る状態が続けば、県の基準により、1学級になる可能性がある。中学生に選んでもらえるように、市と連携しながら説明会等を積極的に実施していきたい。

### (3) 総合戦略（基本目標4～6）に関する施策等について

《基本目標4-(1)-① 健康であり続ける》

- どの分野においても人材の確保が厳しい状況。高齢化率が43%を超える中で、高齢者が安心して暮らせるまちづくりも大切

《基本目標5-(3)-① 快適な生活環境の確保》

- 南九州西回り自動車など、国や県と連携して進めていかないといけないが、主な施策にそのような記載はしなくてもいいか。

### (4) その他

- 全体を通して、公民連携を推進するという記載はしないのか。

以上